

三高同窓会 会報



会長挨拶



会長
西村雄一郎
(高校21期卒)

新年明けましておめでとう
ございます。

今年は、ことのほか寒さ厳しく、山陰は大雪の中新しい年を迎えました。とりわけ、松江や米子にお住まいの方は、思わぬ大雪にご苦労があったのではないのでしょうか。被害に遭われました方には、心からお見舞い申し上げます。生徒は、まさに厳冬のなか

で、進路決定の正念場を迎えていることと思います。

「冬来たりなば春遠からじ」やがて花咲き鳥歌う時がきます。努力の成果を存分に発揮してほしいと思います。

さて、雲南会の大切な行事の一つに雲南会総会があります。三刀屋高校の卒業生が集う大会で、毎年卒業三十一年の期の皆さんが運営、雲南地域の卒業生と共に、東京、近畿、鳥取支部など遠来の卒業生も参加いただいています。今年度は、去る十月九日に木次町チェリヴァホールで、約百名で開催しました。

例年アトラクションを用意します。今年度は、特に演劇部に公演をお願いしました。三刀屋高校演劇部は、二〇〇六年度に全国大会に初出場するや優良校、審査員特別賞を受賞し例年優秀な成績を挙げています。今年度も選ばれて東京国立劇場で公演しました。

総会では、全国大会と同じ演目を演じました。新メンバーでしたが、異空間とも感じられる演出を、生徒は力強くはつらつと演じ、全国大会を見る思いで、総会参加者一同感激しました。

演劇部の皆さんには、臨時の日程の中で、チェリヴァホールでの本格公演で、出演者はもとより大道具の皆さんまで、ご苦労をおかけしたと思いきや、ありがとうございます。

実は、大作業となる演劇部公演実現には、S先輩の提案がきっかけでした。「演劇部の全国での活躍を卒業生に見てほしい。雲南の地で見れる機会は少ない。総会で披露できないか」とおっしゃり、校長、顧問に仲介の労をおとりいただきました。

それを受け、今年度の実行委員会(昭和五十四年三月卒業、第三十一期)の皆さんが、日程調整、会場確保、などご苦労されて、実現に至りました。改めて、御礼申し上げます。

この場作りが、生徒の自信や喜びになったと思いますし、準備されたOB・OGにも喜びになったのではないのでしょうか。

三刀屋高校のホームページを見ますと、東京への修学旅行では、例年、在京の卒業生の講演の時間が設けられているようです。

また、雲南の地元でも、毎年、生徒の職場体験の場を、

卒業生等の協力で提供されています。

これらは、皆、在校生の、三刀屋高校生としての、自信や喜びに、将来の糧につながっていることと思います。

ご協力いただいている卒業生の皆さんに御礼申し上げますと共に、今後も、母校への応援をお願いしたいと思います。

ご挨拶



校長 長 充久
校務 杉谷

平成二十二年度もあつたかとなつてまいりました。今年も雲南会の各支部の皆さまには、母校に対して変わらぬご支援を賜り、また支部総会に参加させていただいた地区では心暖まる励ましをいただき、まことにありがとうございます。

本校は、大正十三年の創立

以来八十七年が経とうとして
います。その間、幾多の人材
を世に送り出してきました。
特に平成十六年には、普通科
から総合学科に改編するとい
う大きな転換期を迎えました。
総合学科は、自分の進路につ
いての考えを深めながら、多
様な選択科目の中から適性、
興味・関心等に応じて選択し、
学習を進める目的で、当時の
文部省が平成六年から全国的
に創設を進めてきた学科です。
本校でもその趣旨に沿い、社
会生活について学びながら自
己をきちんと見つめつつ自己
実現に向かわせることを目指
してきました。改編した当時
はなかなか進んでいなかった
保護者の理解も最近はかなり
深まり、自己理解・進路選択
に関わるきめ細かな指導につ
いて評価する意見をいただく
機会も少しずつ増えてしまし
た。このことは、私たち教職
員にとりまして大きな励みと
なっています。

本県でも部活動といえれば体育
部が話題の中心でしたが、平
成十九年度の全国高校総合文
化祭島根大会の開催を契機に
文化部の活動も大きく注目さ
れるようになりました。本年
度、本校では演劇部が話題の
中心になりました。
八月に宮崎で行われた全国
高校総合文化祭で全国二位に
相当する文化庁長官賞を獲得
し、あこがれの東京・国立劇
場で三回目の優秀校特別公演
に出演し、全国放送されたこ
とはたいへんうれしく、また
部員たちにとって大きな自信
となったことと思います。そ
の折には、地元の皆さまや東
京在住の雲南会、演劇部OB
の皆さまにはさまざまなお心
遣い・激励を賜りましたこと
に、心からお礼申し上げます。
演劇部は、その後十月の雲
南会総会や今年一月のチェリ
ヴァホールでの高校演劇フェ
スティバルに出演する機会を
いただきました。そのほか、
吹奏楽部、美術部等において
も、地域での諸活動への参加
についてお声かけをいただき、
少しでもお役に立てる機会を
持てたことをたいへんうれし
く思います。

過日、ある卒業生の方が、
三刀屋高校に在学していた
頃は、何気なく過ごし、結構
先生に反発したこともあった
けど、その後何十年間、履歴
書や身上報告書などに出身高
校として名前を随分使わせて
もらったよ。」としみじみ話
しておられました。三刀屋高
校という名前が、大切に使っ
てきた古い教科書のように捨

**雲南会総会
懇親会
報告**

雲南会総会実行員会
三十一期代表
西川 徹

平成二十二年十月九日に雲
南会総会が、来賓の皆様をは
じめ、遠方の支部の方々を含
めて多数の卒業生の方々にご
臨席をいただきJ R木次駅前
チェリヴァホールで盛大に開
催されました。
今回は第三十一期(昭和五
十四年卒業)同窓生がお世話
をさせていただきました。当
日は至らなかつた点が多々あ
りましたことをお詫びします
と共に、出席いただきました
皆様に厚くお礼を申し上げます。
総会は三階大会議室で行わ
れたが、無視できない響き
となつていたのでしよう。
今後とも、卒業生の皆さま
に恥じない活力のある三刀屋
高校、地域とともにある三刀
屋高校でありたいと願ってお
りますので、皆さまのご支援・
ご協力をよろしくお願い致し
ます。

ため、在校生の活躍を周近
に見る機会が大切だと思い、
今回は近年全国大会に四回出
場し三刀屋高校の名前を知ら
しめている演劇部の舞台鑑賞
を行いました。秋から一、二
年生の新しい体制になって初
めての舞台ということでした
が、「水底平家」というオリ
ジナル作品が披露されました。
全国レベルの演劇をはじめて
御覧になった方も多く、参加
いただいた皆様から感動の声
をたくさん頂きました。母校
の活躍はとかく、体育会系部
活動の話題が中心となります
が、演劇部の舞台を鑑賞し文
化部の華やかな活動の一面を
認識し、改めて後輩たちの活
躍に一層の期待が膨らんでき
ました。
懇親会は再び、三階大会議
室に会場を移し、同期の四十
名が接待役をさせていただき
ました。会場が一杯になるほ
どの出席者でしたので、熱気
にあふれ、大いに盛り上がり
た懇親会となりました。
卒業三十年で特別会費を納
めた翌年に総会の幹事を引き
受ける実行委員会形式となっ
て今年が十年目となるそう
です。これまで実行委員をされ
た先輩方はこれを機に、母校



や同窓生との絆を再確認しておられます。ふるさとに残っても、遠くで活躍されていて、各人の高校時代の楽しい思い出が心のつながりを感じさせ、一体感を生むのでしょう。

最後にになりましたが、総会を開催するにあたり、西村会

同窓会だよ

卒業四十周年記念同窓会

第二十二期卒

石 飛 啓

記録ずくめの猛暑に見舞われた平成二十二年の夏、そんな暑さも幾分凌ぎ易くなった九月十九日、我ら三高第二十二期卒業生は、四十周年記念同窓会を新装となった三刀屋農村環境改善センターにおいて開催しました。

当日は、県内外から九十八名の同窓生の他、恩師の加藤悦司先生と山本昭親先生には来賓として出席を頂きました。校歌斉唱、物故者への黙祷記念品の贈呈等々和やかな中にも厳肅な開会となりました。昭和四十五年春三月、大きな夢と希望を胸に選択した道

を歩み始めてから早いもので四十年、昭和から平成へと激動の時代の荒波を乗り越えてすでに退職した者や間もなく定年を迎える者など、久しぶりの再会で大いに語り祝杯を重ね合って旧交を深めることが出来ました。また、実行委員の有志で急遽結成した生バンド演奏による懐メロには、全員が一気に青春時代にタイムスリップしての大合唱となりました。

みんなの笑顔から元氣と勇気を頂き、人生はこれからとの思いでこれからも頑張っていきたいと思えます。終わりに母校三刀屋高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

卒業三十周年記念同窓会

第三十二期卒

森 山 博

私たち第三十二期卒業生は、昨年卒業三十周年を迎ええました。

同窓会は八月十四日に、七十一名が参加し、三刀屋町レストハウスまるやにおいて開催しました。当日は、恩師である大賀敏郎先生と佐野久美雄先生にご出席いただきました。

た。記念撮影をした後はゆったりと高校時代の懐かしい話や近況報告などをしながら楽しい時間を過ごすことができました。

今回の同窓会を開くにあたっては、地元在住の同窓生を中心に、四回(全体では二回)の打合せを行い準備を進めてきました。この同窓会で、参加した方々の笑顔が見れたりと声をかけていただいたりしたことが、とても嬉しく感じました。

なお、同窓会に合わせ、百名の協力により特別会費が集まり、雲南会総会において、西村雄一郎会長様にお渡しすることができました。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、総合学科に改編されて六年目を迎えた三刀屋高等学校の今後の活躍と雲南会のご発展を心からお祈り致します

卒業二十周年記念同窓会

第四十二期卒

板 持 順 子

平成二年三月に三刀屋高校を卒業した私達は、昨年八

月十四日、母校に近い三刀屋町アスパルにて全クラス合同の同窓会を開催しました。当日は、卒業生九十二名と恩師の先生三名の出席のもと、母校の玄関前へ集合し、最初に校舎見学をしました。外観は随分変わったような気がしますが、校舎内はほとんど二十年前と変わらず、当手を振り返りながら、ほぼ全館を歩いて回りました。玄関前で記念撮影をし移動した後、式典・懇親会と、ごく普通の同窓会となりましたが、一つだけ、珍しい企画を思いつきました。それは、参加者全員でフォークダンス(オクラホマミキサー)を踊るといふものです。これが、意外や意外!参加者(全員?)に好評で、曲を二回流して終わりにしようとしたところ、なんと「アンコール」の声。わずかな時間ですが、たくさんの人と言葉を交わすことができました。そんな、心に残る同窓会ができたのも、多くの時間と労力を惜しまず協力してくれた幹事の皆さんのお陰です。本当にありがとうございます。そして、次回もよろしくお願ひします!

進 路 指 導 室 だ よ り
進 路 指 導 部 長
真 玉 保 浩

雲南会の皆様におかれましてはますますご清祥でご活躍のこととお喜び申し上げます。また平素は本校の教育活動に對して格別のご支援を賜り心より感謝申し上げます。

総合学科に改編されて七期目の一年生を迎えて、三巡目の教育活動に取り組んでいます。今年度も一年次から産業社会と人間、総合的な学習の時間を中心にキャリア教育を進めています。職業人講演会やインターシップ(三日間)では多くの近隣地域の方や同窓生の方に大変お世話になりました。また二年生の東京研修旅行におきましてはイブニングセミナーとして平成四年卒業(四十四期)の坂本雅俊氏(株式会社アルプロン取締役社長)に、講演をお願いし、今の高校生に伝えたいことを熱く語っていただきました。生徒は社会の第一線で活躍されている先輩の話に大きな刺激を受けたようです。この場

を借りて重ねてお礼申し上げます。

昨年三月には四期生が卒業し、それぞれの進路に進んでいきました。大学の合格者の割合が増え、百五十三名の卒業生の三分の一にあたる延べ五十一名の生徒が現役で国公立大学に合格しました。また難関大学にも果敢に挑戦し、京都大学、大阪大学、神戸大学、九州大学に受験した生徒五名全員が合格しました。私立大学、公立私立の短期大学にも多くの合格者ができました。ほとんどの生徒が部活動と学習の両立に苦勞しながらも学校の授業を中心とした学習と学校の課題と添削指導だけを頼りに一年次からこつこつと努力を重ねて実力をつけて合格を勝ち取ることができたことは我々教職員にとっても大きな自信となりました。また医療系の専門学校をはじめとした職業に直結した進学の道を選ぶ生徒も多く、一年次からのキャリア教育の重要性を改めて感じているところです。また民間就職についても大変厳しい状況の中、希望者全員の内定を頂きました。詳しい進路状況は後述の資料1、2をご覧ください。

本校の卒業生は県内大学、短大から入学してから学習意欲が旺盛であると大変評価が高く、中には授業料全額免除の特待生になっている学生もいます。本校の教育活動は教科指導をはじめとして全教員できめ細やかに進めているのが特徴です。二年次の志望理由書の作成に始まる小論文や面接の個別指導では生徒が社会や自分の進路についてより深く考えることを目指しています。また考えたことを表現し、発表した内容を教員が対話や添削を通して承認することで生徒自身の自己評価が高まり、本校での学びが高校卒業後の出口だけでなく、上級学校での学びと就職活動にもつながっているのではないかと思っています。今後教職員一丸となって生徒の指導を行いたいと考えています。

本年度の三年生も充実した高校生活を送ってくれています。就職については希望者全員が昨年末までのところで内定を頂くことができました。卒業生がお世話になっていることや、企業でも頑張っていることや、部活動や勉強を通じて高校生らしく成長することができたおかげであると感謝していま

す。今後とも学校と企業との信頼関係を維持・発展させるべく就職指導を充実させていきたいと考えておりますので、何かお気づきの点がありましたらお知らせ下さい。

またこの一月には昨年度より多い百二十二名がセンター試験を受験します。自分の進路を切り開こうと、国公立および私立大学、短期大学、専門学校の一入試に向けて必死に勉強に励んでいます。三月三日には卒業式を迎えます。県内に就職、進学する生徒もおりますが、多くの生徒は県外に進学していきます。一度は地元を離れていきますが、これから先も進学や将来の就職のことで、雲南会の諸先輩方のお世話になることがあるかと思えます。そのときにはどうかよろしくお願いいたします。

(資料1) 進学概況

①平成21年度合格者数(のべ数)

	国公立 大学	私立 大学	国公立 短大	私立 短大	看護 学校	医療福 祉専門	各種 専門	浪人 その他	民間 就職	公務員	大 学 校	合 計
現 役	51	77	25	30	19	8	21	3	11	4	2	251
過 卒	(4)	(13)										(17)
合 計	55(4)	90(13)	25	30	19	8	21	3	11	4	2	268(17)

②進学関係（主な合格校） () 数字は延べ数

- 国立大 北見工業大(1)、山梨大(1)、京都大(1)、大阪大(2)、神戸大(1)、和歌山大(1)、鳥取大(5)、島根大(13)、岡山大(3)、広島大(2)、山口大(2)、徳島大(1)、愛媛大(1)、高知大(1)、九州大(1)、九州工業大(1)、大分大(1)、宮崎大(2)、都留文科大(1)、兵庫県立大(1)、島根県立大(5)、新見公立大(1)、県立広島大(1)、高知工科(2)、高知女子大(2)、北九州市立大(1)
- 私立大 東京農業大(1)、明治大(1)、立教大(1)、麻布大(2)、名古屋商科大(1)、京都産業大(7)、同志社大(3)、立命館大(3)、龍谷大(1)、大阪芸術(1)、近畿大(1)、四天王寺大(1)、桃山学院大(3)、姫路獨協大(2)、関西大(2)、甲南大(2)、神戸女子大(5)、神戸学院大(1)、川崎医療福祉大(2)、鳥取環境大(1)、吉備国際大(1)、広島修道大(10)、広島文化学園大(2)、広島工業大(8)、広島文教大(4)、安田女子大(10)、四国大(1)、松山大(9)、など
- 国公立短大 島根県立大短大部{看護(2)、総合文化(6)、食物栄養(3)}、島根職業能力開発短大(4)、新見公立短大{地域福祉(2)}、福山市立女子短大{生活(2)、保育(1)}、大分県立芸術文化短大(2) など
- 私立短大 神戸常盤短大(1)、武庫川短大(1)、鳥取短大(8)、川崎医療短大(3)、山陽学園短大(2)、美作短大(5)、岡山短大(1)、看護専門 中国短大(2)、安田女短大(6)、広島文化学園短大(1)、四国大短大部(1) など
岡山医師会看護専門(1)、明石医療センター附属看護学校(1)、旭川荘厚生看護学院(1)
岡山医療センター看護専門(2)、倉敷看護学院(1)、津山中央看護専門(2)、ソワニ看護学院(1)、米子医療センター附属看護学校(3)、島根県立石見看護専門(2)、浜田医療センター附属看護学校(4)
徳山看護専門学校(1) など
- 医療系 専門学校 YMCA米子医療福祉専門学校(2)、島根リハビリテーション学院(4)、朝日医療専門学校広島校(1)
愛媛医療福祉専門学校(1)、
- 介護福祉系専門 島根総合福祉専門(1)
- その他の専門 大阪コミュニケーションアート専門(1)、大阪ビューティーアート専門(1)、大阪ペイ動物看護専門(1)、大阪スポーツ&リゾート(1)、ECC国際外語専門(1)、島根自動車工学専門(1)、松江調理製菓製パンカレッジ(1)、松江総合ビジネスカレッジ(3)、松江理容美容専門(4)、広島コンピュータ専門(1)、広島ビジネス専門(2)、広島工業専門(1) など

(資料2) 就職概況

①求人状況（過去6年分）

年度	H21	H20	H19	H18	H17	H16
県内求人件数	47	48	103	49	61	53
県外求人件数	184	385	419	255	235	170
計	231	433	522	304	296	223

②職種別内定状況（H21）

職種	男	女	計
販売		1	1
サービス	1	2	3
技能工	1		1
製造	1	3	4
その他	1	1	2
計	4	7	11

③就職内定状況（H21）

地域	男	女	計
県内	3	6	9
中国	1	1	2
計	4	7	11

④公務員（過去5年分）（延べ数）

採用種別	H21	H20	H19	H18	H17
国家Ⅲ種					
(旧) 郵政外務					1
島根県職（一般事務）		1			1
島根県職（学校事務）		1			
松江市職			1		
雲南市職					
雲南消防組合					
島根県警				1	1
自衛隊（曹候補）	2	5	3	1	
自衛隊（二等陸空）	2	5	3	2	
防衛大学校（理工）		1			
合計	4	13	7	4	3

⑤就職内定先

(株) 島根三洋電機
(株) 出雲村田製作所
島根イーグル株式会社
飯石森林組合
北陽警備保障株式会社
社会福祉法人きすき福祉会
(株) 共済不動産（ホテル玉泉）
阪南美容室（プラーージュ）
(株) 中電工
(株) 田部

総合学科

金山良子

三刀屋高校は総合学科として今年度で七年目を迎えました。雲南の雄として、良き伝統や普通科の流れをくむ総合学科として歩み続けています。時代の変化にシなやかに対応して生きる力をもった人材を育てるため、教育のあり方を工夫し、実践しています。地域と雲南会の皆さまに支えられ、生徒自身が進路について考え、様々な経験を通じて目標を具体化し、さらに深めることができる機会を多くもつことができています。

総合学科になり、「社会のなかでどのように生きていくのか」を生徒に問いかける機会が増えました。私たちも、「今、どのような生徒をどのように育てていくのか」という問いを、日々発しながら話し合い、試行錯誤を重ね、目標を定めてきました。総合学科と普通科との大きな違いは、次の二つの力をつけようという様々な働きかけを行っているところだと思えます。一つは、コミュニケーション能力の育成、もう一つは進路選択能力のある生徒の育成です。この二つ

の力をつけるため、総合学科棟など恵まれた施設を生かし、地域の温かいご支援を得て、三年間の高校生活の中にさまざまな「しかけ」を用意しています。

まず、総合学科の授業ですが、一年次は、普通科の学習内容とはほぼ同じです。ひとつだけ異なるのは、「産業社会と人間」という科目の授業が毎週二時間あることです。自己を見つめ、社会とのつながりを体験的に学びます。生徒は、何のために高校で学び、将来自分はどうしたいのか、を考え、探します。つまり、これからの学習の土台となる部分を学ぶ授業です。

三刀屋高校に入学すると最初に体験するのが、四月末から五月上旬頃に三瓶青少年交流の家で行うフレッシュマンセミナー（宿泊体験学習）です。ここで自分の適性について考え、世の中にあるさまざまな職業について調べて話し合い、グループごとに学年全体の前で調べたことを発表するなどします。この行事を初めとして、島根県内で仕事を



しておられる方を複数招いて行う「職業人講演会」や、十月には雲南市や奥出雲町内の事業所数十カ所のご協力による「インターシップ（職業体験学習）」を行います。



また、仕事について学ぶだけでなく、学問についても深く知るために中国地区の大学

および短大の教授を招いて行う「大学出張講義」や島根大学の学生と共に学習する高大連携学習も行っています。どの授業でも必ずメモを取りながら授業に参加し、終わると振り返りの時間を設けて感想を書いておきます。そこで書かれた生徒の感想を読むと、新たな発見や、これまでの自分に何が足りないのかを学び得ていることがわかります。このようにして三刀屋高校の生徒は、高校入学直後から生徒同士や、世代の異なる大人とのコミュニケーションを体験し、「話す・聞く・書く」という力を磨いています。

二年次には、将来について具体的な展望をもつ契機とすることを目的とし、東京方面



へ三泊四日の研修旅行に出かけます。ここでも雲南会のご協力により、東京近郊で活躍しておられる先輩に講演をしていただき、生徒は、多くの刺激を受け、「仕事」や「生き方」について考える機会を得ます。

「しかけ」の中でも主なもの挙げましたが、インターシップや研修旅行などの活動後にはプレゼンテーションソフト「パワーポイント」を用いたクラスおよび学年発表会を行っています。そして生徒は、これらの学びを通じて一年次のまとめとして「ライフプラン」を、二年次のまとめとして「(進路志望の)志望理由書」を書きます。そして三年次には希望分野に関する小論文を書き上げます。こうして何度か将来について書き出し、自己を見つめる機会をもちます。自分自身で調べることや、人の経験や考えを聞く機会をもつことで知識を増やしていきます。それら経験の積み重ねにより、今、何をすべきかを確認し、行動に移していくのです。

これらの「しかけ」が生徒の心の折々に刺激を与え、意欲を高めるきっかけになって



(将来の目標をもって)・(実現に向けて行動できる)生徒と考えます。このような人づくりを目指す三刀屋高校を、引き続きご支援いただきますよう、お願いいたします。

研修旅行と雲南会

二年学年主任
池淵 高 史

いるようです。一年次から二年次、二年次から三年次にかけては、それぞれ文理選択や科目選択がありますが、担任をはじめとする教職員にとっても生徒への時期に応じた面接や、相談に乗る機会をもつことができますし、生徒自身にとっても目標実現のために大切なことを確認する機会が節目節目にあるので、生徒は自分を見失うことなく学んでいくことができます。

私たちが目指すコミュニケーション能力を持つということとは、(あいさつができる)・(チームワークがある)・(人と話ができる)・(人の話を聞ける)生徒であり、進路選択能力を持つとは、(自己を理解しようとしている)・

三刀屋高校総合学科六期生である二年生も無事に研修旅行を終えることができました。今年度も雲南会の皆様にお世話になりました。

研修の目玉となっているイブニングセミナー(講演会)は、首都圏で活躍されている卒業生の方を招いて開催されます。今年度は、縁あって株式会社アルプロンの坂本雅俊さん(本校平成四年卒業)に講演をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。演題は「今だから分かること」でした。

講演内容は、高校時代の様子、大学卒業から会社を起業



したこと、現在扱っているサプリメントについてなど、多彩な内容を熱く語っていただき、生徒たちも大いに刺激を受けたようでした。いくつか生徒の感想を添えます。

「三刀屋高校の卒業生の方が、日本規模で仕事をやっておられると知り、尊敬と自信がわきました」「お話の中で一番印象に残ったことは『人生は自分で選び、勝ち取るもの』という言葉です。そのため

に夢を描き、実現させるため勉強するということを学びました。今はまだ何となくしか将来について考えてないんだと自覚することができました。これからは深いところまで考えていきたいと思っております」「お話を聞いて、あきらめないことが何かをする中で

一番大切だと感じました。自分の夢を叶えるには意志を強く持ち楽しむことが必要だと思えました。まずは自分自身についてよく知り、やりたいこと、夢を決める必要があると思いました。」

今年度の研修旅行の日程は次のとおりでした。

十月十一日(月)一日

五時四十五分、まだ暗闇に包まれているアスバルに集合し、バスで出雲空港に向かいました。第一便で定刻に羽田へ。到着後、バスでお台場にある「日本科学未来館」に向かいました。ここでは二足歩行ロボットASIMOの実演や各階におられるボランティアの方に質問をして研修しました。午後二時半、ホテルフロラシオン青山に到着し、「イブニングセミナー」を実施しました。

十月十二日(火)二日目

この日は終日「班別自主研修」を実施しました。五、六

名で班をつくり、自分たちで見学したい施設にゆかり研修を行いました。事前に調べてはいましたが、道に迷ったり、訪問先で熱心に説明され、予定時間を過ぎてしまう班もありました。主な訪問先は次のとおりです。カナダ大使館・ガーナ大使館・日本赤十字社・電力館・国会議事堂・警視庁・JICA・集英社・パナソニックセンター東京などです。



十月十三日(水)三日

志望別に「企業・学校訪問」に出かけました。コースは東京大学コース(施設見学・体験ゼミ・東大生との座談会・質疑応答)、筑波大学・筑波宇宙センターコース(施設見学・模擬講義・質疑応答)、東京家政大学・ユニセフハウスコー

ス(施設見学・活動紹介・質疑応答)、JTBトラベル&ホテルカレッジ専門学校・JAL日本空港整備工場(施設見学・模擬授業・質疑応答)です。



夜は四季劇場に出かけ、ミュージカル『ライオンキング』を観劇しました。何と座席が一番前から三刀屋高校で、迫力のある演技と演奏に皆感動していました。

十月十四日(木)四日目

東京デイズニerlandで過ごした後、最終便で出雲空港へ帰りました。

演劇部

泣き笑い

島根県立三刀屋高等学校 顧問 亀尾 佳宏

平成二十二年度の全国高等学校演劇発表大会で、三刀屋高校は優秀賞(二位)四位相当)と創作脚本賞(一校のみ)を受賞し、優秀校東京公演に出演することとなった。全国二〇〇校のうち、たった四校だけに許されるステージ。『オニんぎょ』という芝居を書き、練習し始めた頃には、まさかここまで辿り着けるとは思ってもみなかった。

八月末、国立劇場での上演。それまで順調だった舞台には、最後の最後に思わぬ落とし穴が待ち受けていた。うごめく巨大な布がはらりと落ちると、その裏から巨大な人形が現れ、それをきっかけに緞帳が降りるといふ演出のはずだった。しかし、その人形が現れない。幕をつかむ位置が段取りとは違っていた。初歩的な失敗。幕の裏でなんとか人形を作ろうと生徒はもがいている。私は一瞬ためらって緞帳を降ろすきっかけを出す。失敗を取

り戻そうと、焦り苦しみもがく彼女たちの終われない芝居の幕が無情にも降りる。国立劇場の緞帳の裏でこんなに悔しい涙を流させてしまった彼女たちに、わざわざ会場に足を運んでくださったお客様に、最高の舞台を創らせようと真剣に私たちに向き合ってくださった劇場のスタッフさんに、自分たちがこの舞台へと進む陰で、一足早く終わりを迎えた数々の芝居に、いろんなものへ詫びたいような気持ちになりながら楽屋へと引き上げると肩寄せて座る部員たちは一様にうつむき、お通夜のように畳にしみこむ幾筋もの涙。顧問としてやらなければならぬのは失敗を悔やむことでも嘆くことでも、ましてや責めることでもない。ただ涙を笑顔に変えて地元へ帰してあげること。

「これが芝居だよ。いい経験させてもらったね。失敗したけどこれまでで一番良かった」 そんな言葉に泣き笑い。顧問を悲しませちゃいかんと、生徒たちなりに気を遣い無理して笑おうとするけなげさにくたれた。けれどもあの言葉

は、決して慰めの方ではなく、失敗込みでこの一年間のすべての詰まったいい芝居だったという本音の気持ち。 その一ヵ月後、木次のチェリヴァホールで行われた雲南会総会のアトラクションとして、一、二年生で創った『水底平家』という芝居を上演させていただく。まだ練習し始めたばかりの拙いお芝居ではありましたが、卒業生の皆様の温かいご支援によって代替わりした最初の舞台を無事成功させることができました。 この芝居はその後、県大会で最優秀賞、中国大会で優秀賞、やくも国際演劇祭で「観客の選ぶ作品賞」を受賞し、先日は香川県高松市で招待公演を果たして参りました。残念ながら全国大会への出場はなりませんでしたが、また機会がありましたらどこかで上演したいと思っています。

長かった平成二十二年度もあとわずか。三月十九日に出雲市駅前「ビッグハート」で『七人の部長(既成脚本)』を上演し、今年度の上演が終わります。そして次年度、新入生を迎えまた新しい舞台を創っていく予定です。国立劇場やチェリヴァホールでの公演では、たくさん卒業生の皆様にご来場いただき、温かいお言葉やお心遣いをいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。景山さん、お寿司と鯛焼きおいしかったです。

部活動 トピックス

美術部

美術部の年間目標の一つは高校美術展への出品です。第四十三回の県高校美術展に、絵画、デザイン、彫刻、工芸の四部門に五十五作品を出品し、内三十九作品が入選しました。出品数・入選数ともに、本校が一番多く、全国高校総合文化祭への出品も期待出来ました。結果、あと一步で全国への出場は叶いませんでしたが、油絵部門ではある程度の作品を出品出来た気がします。また、パソコンを用いたデザイン、陶芸設備を活用した工芸部門への参加など、作品の幅を広げることも出来ました。

これらの作品は二月にチェリヴァアの学外展で展示する予定です。

またここ数年は、「活動を通して地域に役立つ」という目標も掲げてきました。特に四月のさくら祭りにおけるアーテイメントのお手伝いは定着化し、毎年地域の人と楽しく交流を深めながら参加させて頂いています。他にも、雲南市のすすめる特産品を用いた菓子開発「うんなんスイーツの杜」プロジェクトのお手伝い、認知症への理解を深める為の小学生向け紙芝居の制作、オリジナル自動販売機のデザイン協力など、貴重な体験をさせて頂いています。

今後更なる活動の活発化をはかり、地域の美術活動の中心的な存在になれるよう頑張っていくしたいと思います。

(顧問 森山 恭)

スキー部

現在、二年生女子一名、男子二名がアルペン種目で活動しています。

ジュニア時代から、スキー指導者でもある保護者からの英才教育を受けた、少数精鋭の生徒たちです

平素は、アスパルや学校のトレーニング場を使って筋トレやランニング中心の練習をしています。

春休み、五月連休、十二月上旬～年末には、雪を求めて、北海道や信州での十～二十日間の強化合宿に出かけて行きます。

インターハイ県予選、国体県予選、県選手権、中国、全国、国体、全国選抜、中国新人、そして近県開催のB級大会が、一月～三月の三ヶ月たらずの間に集中するので、相当過密なスケジュールになります。授業が進む学期中に、全国大会や合宿があるために、勉強との両立が大変です。

今シーズン最初の大会であるインターハイ県予選が一月五・六日に琴引フォレストパークスキー場でありました。

- 女子 SL (回転) 第二位
- GS (大回転) 第二位
- 男子 SL (回転) 第二位
- GS (大回転) 第二位

一月中旬に県内大会および全国大会は終了しました。

今後は次の全国大会に出場する予定です。

○全国高校大会

二月六～十日

岩手県安比高原

男女各一名

○冬季国体

二月十二～十五日

秋田県鹿角市

男子一名

○全国高校選抜大会

三月十～十三日

北海道富良野市

男女各一名

部員は全国をまたにかけ、たくましく長期の合宿に出かけていきます。私も生徒たちのおかげで、この年齢(五十八)になって、一週間に一回のペースで近隣のスキー場に出かけたり、全国的に有名なスキーリゾートに遠征することになりました。部員が使用しているスキーの片足分ほどの値段でスキー用具一式を購入して引率を頑張っています。

(顧問 浜辺大王)

男子ソフトボール部

「受け継ぐ強さ」

八月に沖縄県の読谷村・恩納村で開催された「美ら島沖縄総体二〇一〇」に参加しました。

開会式に先立ち、監督会議

が開かれ、その会場で十年連続全国総体出場の表彰を受けました。私自身は今年度から三万屋高校に赴任したため、十年間の経緯は分かりませんが、表彰を受けながら嬉しさよりも今までの部員たちの気持ちの強さに感心しました。

確かに島根県の高校男子ソフトボール競技の状況は参加校が少なく、全国大会に近いとよく言われます。しかし、絶対ということのない勝負の世界において十年間にわたって勝ち続けるということがいかに難しく、それを成し遂げてきた部員たちの日々の継続した努力と「自分たちがこのつながりを切ることはできない」という重圧の中でそれをはねのけていった気持ちの強さがこの表彰に凝縮されていると思うと記念品がとても重いものを感じられました。

試合は台風が接近し、豪雨によってぬかるんだグラウンドと強風という悪条件の中で奮闘しましたが、新潟県代表の日本文理高校に二対四で敗戦という結果に終わりました。

この大会で三年生は高校の部活動に一つの区切りをつけましたが、彼らが先輩たちから受け継いだ強さは下級生た

ちに確実に受け継がれています。一・二年生も秋の島根県大会では重圧をはねのけて勝ち抜き、三月に開催される全国選抜大会の出場権を獲得しました。全国の舞台での活躍を目標に日々練習に励んでいます。このように上級生の一つの試合へかける気持ち、日々の練習に取り組み姿勢が下級生たちに受け継がれていくのだなと感じています。

そして、このような良い伝統を受け継いでくれた卒業生やその活動を支え、応援して下さった保護者の皆様や地域の皆様の期待に応えられるように頑張っていくと思いますので今後もご声援をよろしくお願いいたします。

(顧問 三嶋 広)

女子ソフトボール部

『全国大会で一勝』。これは、生徒と一緒に決めた昨年から目標です。

ここ数年なかなか県内で勝つことさえできなかった、全国大会で勝つことができたのも十年前になります。この目標を達成するため、土日は練習試合や実業団の方々と一緒に練習したり、連休になる

と積極的に県外遠征に出かけたりもし、休みなしで練習してきました。

おかげで昨年は、全国選抜大会、インターハイと数年ぶりに春夏の全国大会に出場することができました。『全国大会で一勝』を合言葉に挑んだインターハイでは宮城県代表の聖和学園高校と対戦しました。毎回のようにランナーを出し、何度も何度も相手に満塁のチャンスを与え、苦しい場面がたくさんありました。ベンチでは、出ていない生徒も必死に声援を送り、相手になんとか得点されまいと一緒に戦いました。なんとかか一点という最小失点に抑えることができたものの、相手からもらった二回のチャンス活かすことができず、惜しくも0対1で敗れ、あと一步で目標を達成することはできず、悔しい思いをしました。しかし、十月に行われた県新人戦で優勝し、二年連続で全国選抜大会に出場することが決まり、再び目標にチャレンジする機会を得ました。現在チームは一・二年九人と人数がぎりぎりですが、『全国大会で一勝』を合言葉に、休日返上で練習

に励んでいます。三年生の悔しい思いを知っている分、必ず今回の全国選抜大会で目標を達成してくれると信じていますのでご声援よろしくお願ひします。

(顧問 星野 清香)

ソフトテニス部

ソフトテニス部の現在と未来

(パート4)

雲南会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また中国大会・全国大会の出場に際して、格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

県高校総体では緒戦から苦しい試合ばかりでしたが、選手はよく頑張り、個人戦一位・三位に入賞しインターハイと中国大会に出場しました。団体戦では松江西高校に準決勝戦で敗れ、中国大会に出場するにとどまりました。中国大会には上記二ペアに加えて新田・多賀ペアが出場しました。児玉・藤原由美ペアは中国大会個人戦のランキング入りを果たし、沖縄インターハイでは、同ペアが三回戦で、藤原遥・戸田ペアも一回戦で、大接戦をしながら敗れましたが、

島根県勢として最後まで勝ち残り、全国の強豪相手に実力を発揮しました。

また、九月の千葉国体へは児玉・藤原由美ペアが島根県チーム唯一の三年生ペアとして出場しました。一回戦で優勝した福岡県に敗れはしたものの最後まで立派に戦ってくれました。このペアは三年生になって四月からの県内大会では個人戦、団体戦とも一度も負けることなく、文字通り県を代表する選手に育ってくれました。

このペア以外の一、二年生の選手も先輩に続けとばかりに県内外の大会を目指して日々「感謝・感動」の部旗のもと、明確な目標を持ち、その実現のためにひたむきに努力を続けてきています。また保護者の方々への支援態勢は抜群で、部活動への理解と協力はもちろん、大会での応援の様子も新聞社の記事に掲載されるほどでした。部員一人一人と保護者の方そして応援していただいたすべての方との絆に本当に感謝しています。

進路決定についても実績を残してくれており、炎天下のテニスコートから厳寒の体育館練習において、もがき苦し

みながらボールを追ったことやチームメイトとともに喜んで、涙したりした経験が自分の力に変えて、自分の道を切り開いていくてくれています。出会った人やチャンスやピンチをすべて自分のキャリアにするたくましさや備えた人間となってこれからの社会で活躍してくれるものと期待しています。

(顧問 真玉保浩)

野球部

雲南会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、野球部に対しまして格別のご支援をいただきまして、感謝申し上げます。

さて、今年度の戦績につきまして、今年度の戦績につきまして、平成二十二年四月二十四日から開催されました春季高校野球大会では大東高校と対戦し五回までは善戦したものの十対三で敗れました。五月二十八日から開催された出雲地区大会では出雲北陵高校と対戦し0対10で敗れました。そして、三年生にとっては最後の大会となる選手権大会島根大会では、七月十五日開会式直

後の開幕ゲームとなりました。益田東高校と対戦し、結果は七対四で敗れはしたものの六回までリードし、新チームに繋がる好ゲームを展開してくれましたと思います。三年生はマネージャーを含め七名という少ない人数で活動をしてまいりました。三年生は少人数のため思うような活動もできず大変だったと思います。しかし、この三年間の努力を糧として、これから社会の中で活躍してくれることと願っております。新チームになり、秋季大会では一回戦 出雲農林高校にコールドで勝ち、二次予選では大社高校に敗れるという結果になりました。

平成二十三年は三月八日からシーズンに入ります。諸先輩方の築きあげられたものを受け継ぎながら、応援してくださる方々の期待に応えられるように全力で練習していきたいと思えます。来年のこの会報では良い報告ができるよう頑張りますので、今後とも応援よろしくお願ひいたします。

(顧問 田中 大介)

部活動報告

運動部

○野球部

* 県高校春季野球大会

(中部地区予選)

三刀屋3-10大東

* 出雲地区高校野球大会

三刀屋0-10出雲北陵

* 全国高等学校野球選手権大会

会島根県大会

1回戦

三刀屋4-7益田東

* 県高等学校秋季野球大会

(二次大会)

1回戦

三刀屋7-0出雲農林

県高等学校秋季野球大会

(二次大会)

2回戦

三刀屋0-8大社

* 出雲地区高校野球1年生大会

1回戦

三刀屋6-1出雲商業

準決勝

三刀屋4-5平田

(延長12回)

○陸上競技部

* 全山陸上競技大会

男子800M準決勝

今岡 大介

3位

○男子ソフトテニス部

* 中国大会・県総体地区予選大会

個人戦

大森・錦織組

ベスト32

男子1500M決勝

今岡 大介

11位

男子槍投げ

小田川雄大

8位

* 島根陸上競技選手権

男子800M決勝

今岡 大介

5位

男子1500M決勝

今岡 大介

15位

* 県総体

男子800M準決勝

今岡 大介

15位

男子やり投げ

小田川雄大

10位

児玉 大貴

14位

田中 徹

17位

女子走り高跳び

若槻 鈴華

9位

* 県高等学校新人陸上競技大会

男子3000m障害決勝

佐藤 文哉

21位

男子2年5000m決勝

佐藤 文哉

11位

男子1年5000m決勝

田部 照人

25位

男子110mH決勝

女子走高跳決勝

若槻 鈴華

5位

大坂・落合組

内田遙・長谷川組

大野・恩田組

福岡・片石組

藤原・榎組

団体戦

1回戦

三刀屋3-10出雲農林

2回戦

三刀屋0-3松江高専

* 県総体

個人戦

大坂・落合組

大森・錦織組

内田智・吉岡組

藤原・榎組

団体戦

1回戦

三刀屋3-10松江農林

2回戦

三刀屋0-3出雲北陵

* 県高等学校ソフトテニス選

手権大会

個人戦

小影・武田組

霍田・小林組

落合・案田組

小村・松本組

鐘撞・恩田組

石橋・片石組

2回戦進出

* 県高等学校ソフトテニス新

個人戦

小影・武田組

小村・松本組

鐘撞・恩田組

落合・案田組

石橋・片石組

霍田・小林組

2回戦進出

* 山陰高校ソフトテニス選手

権大会

個人戦

児玉・藤原由美組

ベスト8

新田・多賀組

ベスト16

藤原遥・戸田組

難波・若槻組

ベスト32

* 県総体

個人戦

児玉・藤原由組

1位

(全国高校総体・中国大会出場)

藤原遥・戸田組

3位

(全国高校総体・中国大会出場)

新田・多賀組

ベスト24

(中国大会出場)

団体戦

1回戦

三刀屋3-10吉賀

2回戦

三刀屋2-10松江北

準々決勝

三刀屋2-11江津

団体戦

1回戦

三刀屋2-1倉敷中央

2回戦

三刀屋0-3清水が丘

(岡山)

個人戦

児玉・藤原由組

ベスト16

中国高校ランキング11位

藤原遥・戸田組

ベスト32

* 全国高等学校ソフトテニス

選手権大会

個人戦

1回戦

藤原遥・戸田組

3-4

柏原・後藤組

(愛知・豊橋中央高)

2回戦

児玉・藤原由組

4-1

山田・田中組(三重・三重高)

3回戦

児玉・藤原由組

3-4

千葉・石川組(宮手・花巻南高)

* 国民体育大会

団体戦

島根県0-3福岡県

代表として出場

* 県高等学校ソフトテニス新

個人戦

1回戦

三刀屋3-10益田

2回戦

個人戦

友塚・多賀組 ベスト8
案田・藤原組 ベスト32

個人戦

難波・多賀組 ベスト16
友塚・細木組 ベスト32

敗者復活トーナメント

安部・原組 決勝進出
案田・藤原組 3位

*島根県高等学校ソフトテニスインドア選手大会

個人戦
友塚・多賀 ベスト8
案田・藤原玲 ベスト16

○男子バスケットボール部

*中国高校選手権県予選
1回戦
三刀屋84-72益田翔陽

ブロック決勝
三刀屋85-52松江南

2次予選(リーグ戦)
三刀屋54-84松江東

三刀屋63-79出雲北陵

三刀屋59-86松江西

三刀屋64-57松江北
1勝3敗で4位

*中国高等学校選手権大会
1回戦 三刀屋68-87広陵

*県総体

1回戦 (広島県)

三刀屋144-18益田東

2回戦 三刀屋75-64大社

準々決勝 三刀屋49-75松江北

ベスト8

*県選手権大会
1回戦 三刀屋124-25島根中央

2回戦 三刀屋77-48松江南

準々決勝 三刀屋66-114出雲

ベスト8

*県新人大会
1回戦 三刀屋107-51安来

2回戦 三刀屋71-41益田

準々決勝 三刀屋72-65益田

準決勝 三刀屋46-94松江東

3位決定戦 三刀屋59-101出雲北陵

ベスト4 《ベスト5賞 舟木 光》

○女子バスケットボール部
*中国高校選手権県予選

1次予選 三刀屋53-46益田

2回戦 三刀屋46-101松江東

決勝 三刀屋67-31邇摩

三刀屋50-76松江北

*県選手権大会
1回戦 三刀屋19-74益田翔陽

1回戦 三刀屋19-74益田翔陽

*県新人大会
1回戦 三刀屋45-82大田

1回戦 三刀屋45-82大田

*男子ソフトボール部
*中国高校選手権県予選

三刀屋4-0安来

三刀屋4-0安来

(中国大会出場権獲得)

*中国高校選手権
2回戦 三刀屋5-7

2回戦 三刀屋5-7

鳥取中央育英(鳥取県)

*県総体
決勝 三刀屋10-0安来

決勝 三刀屋10-0安来

*山口県・島根県全国大会出場決定戦
三刀屋(島根代表)12-1

三刀屋(島根代表)12-1

徳山(山口代表)

10年連続全国高校総体出場

優勝

*県高等学校ソフトボール新入戦
決勝戦 三刀屋8-1安来

優勝 三刀屋8-1安来

*中国高等学校ソフトボール新人大会

2回戦 三刀屋10-0

米子松蔭高校(鳥取県)

(5回コールド)

準決勝 三刀屋2-3

鳥取中央育英高校(鳥取県)

第3位

○女子ソフトボール部
*中国高校選手権県予選

1回戦 三刀屋5-0松江南

1回戦 三刀屋5-0松江南

準決勝 三刀屋2-5大東

3位決定戦 三刀屋14-2出雲商業

中国高校選手権 1回戦 三刀屋1-6

鳥取城北(鳥取県)

*県総体
1回戦 三刀屋7-0浜田商業

優勝※全国高校総体出場

*全国高等学校総合体育大会
1回戦 三刀屋0-1

聖和学園高校(宮城県)

*国民体育大会中国ブロック大会

2回戦 島根0-9岡山

※三刀屋高校は島根県代表

*県高等学校ソフトボール選手権大会
2回戦 三刀屋23-0松江南

準決勝 三刀屋2-1松江商業

決勝 三刀屋3-4大東

準優勝

*県高等学校ソフトボール新人大会
2回戦 三刀屋19-1安来

2回戦 三刀屋19-1安来

準決勝 三刀屋7-0浜田商業

決勝 三刀屋5-4大東

優勝 三刀屋5-4大東

*中国高等学校ソフトボール新人大会
1回戦 三刀屋0-6

県立広島商業(広島県)

○男子バレーボール部
*中国高校選手権県予選
予選グループ 三刀屋2-0益田

三刀屋1-2 横田
* 県総体
1 回戦

三刀屋2-10 大東
三刀屋2-10 出雲西
三刀屋1-2 中央

* 県高等学校バレーボール選手権大会
予選リーグ戦
三刀屋出雲合同1-2 大社
三刀屋出雲合同2-1 浜田
* 県高校新人バレーボール大会
予選グループ戦
三刀屋出雲合同0-2 平田
三刀屋出雲合同0-2

三刀屋2-10 大東
三刀屋2-10 出雲西
三刀屋1-2 中央

情報科学
男子ダブルス
梅木・富田組
柳原・藤原組
原・森山組
嘉本・渡部組
男子シングルス
原
渡部・嘉本・富田
梅木・森山
女子ダブルス
坪倉・多賀組
谷口・小林組
女子シングルス
坪倉・谷口・多賀・小林
2 回戦進出

2 回戦
三刀屋0-3 平田
男子ダブルス
嘉本・渡部組 3 回戦進出
宮崎・杉原組
梅木・富田組
原・森山組 2 回戦進出
男子シングルス
森山・富田 3 回戦進出
飯島・宮崎・梅木・原・渡部・嘉本 2 回戦進出
女子ダブルス
谷口・小林組
坪倉・多賀組 2 回戦進出
女子シングルス
芝原・影山・谷口・多賀
小林・坪倉 2 回戦進出
* 島根県高等学校卓球選手権大会
男子ダブルス
富田・杉原組 2 回戦進出
男子シングルス
平井・原・梅木
3 回戦進出

男子シングルス
杉原 3 回戦進出
森山・宮崎・原・陰山 2 回戦進出
女子シングルス
谷口 2 回戦進出

○ 剣道部

* 中国高校剣道選手権県予選
男子団体
1 回戦
三刀屋1-3 出雲商業
個人戦
男子
川本 理来 ベスト32

3 回戦
川本理来 1メ 嶋崎 (広島城北)
* 県高校剣道選手権大会
男子団体戦
1 回戦
三刀屋 対 益田東
1人残して勝ち
2 回戦
三刀屋 対 大社
5人残して負け
女子団体戦
1 回戦
三刀屋 対 松江北
2人残して負け
男子個人戦
川本 理来 3 回戦進出
石飛 賢二、伊藤 亨 2 回戦進出

○ 女子バレーボール部

* 中国高等学校バレーボール選手権島根県予選
予選グループ
三刀屋2-1 浜田
三刀屋1-2 松江北

3 回戦進出
3 回戦進出
3 回戦進出
3 回戦進出

* 県総体
1 回戦

女子ダブルス
坪倉・多賀組
谷口・小林組
女子シングルス
坪倉・谷口・多賀・小林
2 回戦進出

2 回戦
三刀屋2-10 平田
三刀屋0-2 松江農林

* 島根県高等学校新人卓球大会
男子団体
予選1次リーグ
三刀屋0-3 松江東
三刀屋0-3 明誠
女子団体
予選1次リーグ
三刀屋0-3 大田
三刀屋1-3 大社

* 県高等学校バレーボール選手権大会
予選リーグ
三刀屋2-10 明誠
三刀屋0-2 開星

* 県総体
男子団体
1 回戦
三刀屋0-3 出雲工業
女子団体
1 回戦
三刀屋3-2 矢上

* 第56回中国高等学校剣道選手権大会
男子個人
1 回戦 不戦勝
2 回戦
川本理来 コー 高橋 (米子松蔭)

* 中国高等学校新人バレーボール大会島根県予選
予選グループ

女子個人戦
藤原 梨沙 2 回戦進出
渡部紗弥花 3 回戦進出

* 県高校剣道新人大会
男子団体戦
1 回戦 3-1 益田東
2 回戦 0-3 松江工業
女子団体戦
1 回戦 0-4 松江東
個人戦
男子 川本 理来 2 回戦進出
女子 藤原 梨沙 2 回戦進出
渡部紗弥花

* 中国高等学校新人バレーボール大会島根県予選
予選グループ

女子個人戦
藤原 梨沙 2 回戦進出
渡部紗弥花

2 回戦進出

○柔道部

*中国高校選手権県予選

女子団体

三刀屋1-2 松江南

三刀屋1-2 松江北

三刀屋0-2 出雲西

女子個人戦

70 kg級 三浦 渚

優勝

*県総体

男子団体戦

三刀屋0-5 開星

敗者復活戦

三刀屋0-5 出雲

女子団体戦

三刀屋1-2 出雲西

敗者復活戦

三刀屋2-1 松江農林

3位復活戦

三刀屋 1①益田東

第5位

男子個人戦

100 kg級 横山 徳光

2回戦敗退

女子個人戦

70 kg級 三浦 渚

優勝

(インターハイ出場権)

57 kg級 松村 美穂

2回戦敗退

*第57回中国高等学校柔道大会

女子個人戦

70 kg級決勝トーナメント
1回戦

三浦一妹尾(岡山学芸館)
優勢負(5位)

○サッカー部

*県総体

1回戦

三刀屋1-2 出雲農林

*高校サッカー選手権大会

出雲地区予選リーグ

三刀屋0-9 出雲北陵

三刀屋2-2 出雲農林

*島根県高校サッカー新人大会

三刀屋0-7 平田

○スキー部

*全国大会島根県予選会

男子回転

丹後雅登

男子大回転

丹後雅登

小林 亘

女子回転

小林あかね

女子大回転

小林あかね

*平成23年度島根県スキー選手権大会

アルペン競技 回転

男子 小林 亘 第2位

丹後雅登 第3位

女子 小林あかね 第2位

*第52回中国高等学校スキー選手権大会

男子大回転 15位/32人中
丹後雅登 17位/32人中
小林 亘 18位/32人中
女子大回転 5位入賞/22人中
小林あかね 6位入賞/22人中
女子団体 第7位/参加20校

*全国高等学校スキー大会

男子大回転 129位/172人中
丹後雅登 115位/173人中
女子大回転 72位/181人中
小林あかね 66位/178人中

男子回転 117位/186人中
丹後雅登

*第66回国民体育大会

冬季大会スキー競技

少年男子大回転

島根県高校総体

学校対抗戦Aグループ

男子総合 21点(26位)

女子総合 40点(12位)

男女総合 61点(15位)

敢闘賞 受賞

文化系

○書道部

*高文連書道コンクール

特選 渡部さやか

秀作 日倉真子、石田典子

佳作 福馬真実、早戸聡美

田原真子

*第43回島根県高校書道展

奨励賞

日倉 真子

藤原ひとみ

石田典子、福馬真実

田原真子、早戸聡美

若槻あかり

渡部さやか

○吹奏楽部

*全日本吹奏楽コンクール

島根県大会

*全日本アンサンブルコンテ

スト島根県大会

金賞 管弦八重奏

金賞 打楽器四重奏

金賞 金管八重奏

○演劇部

*全国高等学校総合文化祭

(全国高等学校演劇大会)

優秀賞

文化庁長官賞

創作脚本賞

上演演目 「オニんぎょ」

*全国高等学校総合文化祭優
秀校東京公演
上演演目 「オニんぎょ」

*県高等学校演劇発表大会

最優秀賞(中国大会出場)

上演演目 「水底平家」

*中国地区高等学校演劇発表会

優秀賞

上演演目 「水底平家」

*やくも国際演劇祭

上演演目 「水底平家」

観客が選ぶ作品賞

○写真部

*高文連写真部門春季コンクール

特選 舟木 巧

星野 愛美

舟木 優子

入選 舟木 巧

笠江美久里

星野 愛美

本江クリス(4点)

船木 優子

渡部 悠

*高文連写真部門秋季コンクール

特選 本江クリス

飯塚 眸(2点)

佐伯さくら

入選 笠江美久里

本江クリス(5点)

佐伯さくら

高尾真奈美

船木 優子

堀江智香子(2点)

*島根県高校写真展
奨励賞 佐伯さくら
入選 星野 愛美

本江クリス
飯塚 眸(2点)
船木 優子

○芸術科(音楽)
*島根県高等学校音楽コンクール
金管楽器の部

金賞 藤原恵理子
銀賞 森田 智子
内田 成美

木管楽器の部
金賞 赤名 咲子
銅賞 品川 夢花

声楽の部
金賞 小池 裕介
銀賞 名原 崇人
木澤 舞
太田 直孝

○美術部

*高文連出雲地区絵画コンクール
入選

遠藤壮一郎・白築 康一
内田 麗奈・安食 茜
名原 葉月・景山 知香
池内 由香・細木 千穂
*全日本学校ポスターコンクール
三高祭ポスターを出品
一〇三作品中 十三点受賞
第十二席

ハイデルベルグ賞 安食 茜

*県高校美術展
絵画の部
入選

遠藤壮一郎・白築 康一
内田 麗奈・安食 茜
名原 葉月・景山 知香
細木 千穂・高尾真奈美
西村佳那生・藤原 沙織
金山 睦美
デザインの部
入選

安食 茜・白築 康一
名原 葉月・福岡 霞美
池内 由香・細木 千穂
工芸の部
入選

*島根県読書感想画コンクール
指定読書の部
優秀賞

二年 白築 康一
(県代表として中央コン
クールへ)
一年 高尾真奈美

○文芸部

*高校生文芸道場中国「プロック大会(島根大会)」

支部会だより



雲南会大阪支部



雲南会東京支部

事務局だより

会員の皆様には、お元気で活躍のことと存じます。本年度、雲南会総会・懇親会は高校三十一期の皆様方のご尽力により盛会裏に終了することができました。アトラクションの本校演劇部公演『水底平家』に、感動を覚えられた方々も多かったのではないでしょう。また、二十二期・三十二期・四十二期の皆様方には特別会費をいただき感謝しております。

本年度も、各支部総会に参加させていただき、皆様方の母校を思う多くの熱い気持ちにふれることができました。今後も、多くの皆様方に支部総会に出席していただきたいと願っております。

これからも、母校および雲南会の発展のために、皆様方のご支援をお願いいたします。

1の1年間の同窓会の行事

平成22年

3月2日 雲南会入会式
(総合学科第4期)

3月24日 三刀屋支部総会

9月11日 大阪支部総会

7月24日 日登支部総会

8月7日 雲南会役員会

9月16日 木次支部総会

10月9日 雲南会総会
(木次チェリヴァホール)

11月13日 東京支部総会

平成23年

2月20日 一宮支部総会

3月2日 雲南会入会式
(総合学科第5期)

お願い

同窓会報の送付は、卒業期が偶数期のみなさんと奇数期のみなさんと隔年で行っております。事務局が把握しております住所に送付しておりますが、毎年宛先不明で返送されてくるものもあります。もしお知らせの同窓生の方にこの会報が届いていない場合には、その方に事務局まで現住所をお知らせいただくようお願いいたします。なお、その際には個人情報保護のため封書等をお願いいたします。

〒690-2402
島根県雲南市三刀屋町三刀屋912-2
三刀屋高校雲南会事務局 宛

平成21年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成21年 4月～平成22年 3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増減△	摘 要
入 会 金	2,208,500	2,187,250	△ 21,250	年会費 1年5,000円、2年4,500円、3年3,000円
前年度繰越金	853,413	853,413	0	
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高21期、高31期、高41期
特 別 補 助 金	800,000	800,000	0	特別会計より
雑 収 入	1,000	376	△ 624	預金利息
合 計	4,312,913	4,291,039	△ 21,874	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000	0	450,000	450,000	0	高30期主催
支 部 総 会 費	240,000	0	240,000	180,000	60,000	東京、大阪、日登、西日登、木次、三刀屋
活 動 費	750,000	△ 111,790	638,210	632,813	5,397	同窓会会報発送費等
印 刷 費	300,000	0	300,000	138,180	161,820	同窓会会報印刷等
役 員 会 費	200,000	0	200,000	187,700	12,300	役員会会議費等
同窓会名簿管理費	50,000	0	50,000	9,529	40,471	同窓会名簿原簿管理費
卒 業 記 念 品	120,000	0	120,000	87,176	32,824	証書入れケース154本
異動職員餞別金等	30,000	0	30,000	29,000	1,000	餞別
慶 弔 見 舞 金	40,000	111,790	151,790	151,790	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	0	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	50,000	2,830	52,830	52,830	0	切手、はがき代、その他送料
旅 費	700,000	22,236	722,236	722,236	0	総会、支部総会出席等
事 務 費	50,000	0	50,000	17,085	32,915	事務用品
雑 費	120,000	0	120,000	99,860	20,140	新聞広告費等
特別会計繰出金	853,413	0	853,413	853,413	0	
予 備 費	59,500	△ 46,866	12,634	0	12,634	
生 徒 返 金		21,800	21,800	21,800	0	
合 計	4,312,913	0	4,312,913	3,933,412	379,501	

差引残高：4,291,039円－3,933,412円＝357,627円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成22年 8月 2日

監事 金山 邦史
監事 錢 織 達郎

平成22年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書

(平成22年 4月 1日～平成23年 3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
入 会 金	2,552,000	2,208,500	343,500	1年5,000円×181人、2年4,500円×176人、3年4,500円×190人
前年度繰越金	0	853,413	△ 853,413	
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高22期、高32期、高42期
特 別 補 助 金	800,000	800,000	0	特別会計より
雑 収 入	1,000	1,000	0	利息
合 計	3,803,000	4,312,913	△ 509,913	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増減△	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高31期
支 部 総 会 費	240,000	240,000	0	大阪、東京、木次、三刀屋ほか
活 動 費	750,000	750,000	0	同窓会会報発送業務費等
印 刷 費	300,000	300,000	0	同窓会会報印刷費、その他印刷
役 員 会 費	200,000	200,000	0	各種役員会等
同窓会名簿管理費	50,000	50,000	0	同窓会名簿データ印刷等
卒 業 記 念 品	110,000	120,000	△ 10,000	証書入れケース
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶 弔 見 舞 金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	50,000	50,000	0	郵券代ほか
旅 費	730,000	700,000	30,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	50,000	50,000	0	事務費用品
雑 費	110,000	120,000	△ 10,000	新聞広告等
特別会計繰出金	0	853,413	△ 853,413	
予 備 費	393,000	59,500	333,500	
合 計	3,803,000	4,312,913	△ 509,913	